

動脈硬化健診に参加された皆様へ

和歌山県立医科大学保健看護学部では、以下の疫学研究を実施しています。ここにご説明するのは、かつらぎ町、みなべ町、高野町、北山村で実施された動脈硬化健診を受診された皆様の検査結果やアンケート調査の情報を利用して解析を行う疫学研究です。この研究は、和歌山県立医科大学の倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して行う研究ですので、動脈硬化健診を受診されている皆様に新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

動脈硬化健診を受診されている皆様には、研究の趣旨や方法をご説明し、検査結果やアンケート調査の情報を、生活習慣病の有効な予防法を明らかにするための研究に利用させていただくことについて同意をいただいているところですが、この研究に対してご自身の情報が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

中高年者における冷え症の実態とその影響要因の解析

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学保健看護学部 教授 宮井信行

3. 研究の目的

冷え症は、通常の人々が苦痛を感じない程度の温度環境のもとで、腰や背中、腰から足、手足の指先などに強い冷感を自覚する状態とされています。中高年者の冷え症は、放置すると無自覚のまま進行し、様々な不定愁訴を招いたり、肩こりや手足の痛みなどの末梢循環障害を引き起こしたりします。このため、冷え症に陥りやすい傾向を早期に捉え、改善や悪化防止のための対策を行うことが重要となります。この研究は、中高年者における冷え症の実態とその影響要因を明らかにし、予防や改善のための対策に資する知見を得ることを目的としています。

4. 研究の概要

(1) 研究の対象となる方

かつらぎ町は2019年、みなべ町と高野町は2020年と2021年、北山村は2021年の動脈硬化健診において、皮膚温測定及び冷えに関する質問紙調査にご協力いただいた方のデータが分析対象となります。

(2) 利用させていただく情報

この研究で利用させていただくのは、動脈硬化健診の検査項目（身体測定、皮膚温、内臓脂肪量、筋肉量、握力・脚筋力、血液生化学検査、循環機能検査、自律神経機能検査、認知機能検査）、アンケート調査項目（性別、年齢、冷え症、病気の治療歴と服薬状況、喫煙、飲酒、身体活動量、睡眠、食物摂取状況）の情報になります。

(3) 研究方法

健診を受診された方の一人ひとりから得られた皮膚温測定と冷えに関する質問紙調査の情報から中高年者の冷え症の特徴を明らかにします。また、動脈硬化健診における循環機能検査、自律機能検査、筋肉量及び体組成検査、認知機能検査、生活習慣（飲酒、喫煙、身体活動量、睡眠など）に関する情報を利用して冷え症に関連する要因を統計学的に解析します。

5. 個人情報の取扱い

この研究に利用するデータからは、個人を特定できる情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

このような疫学研究は、医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、ご自身の情報が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、令和4年(2022年)7月31日までに下記にご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも不利益を被ることは一切ありません。

7. 研究組織

研究責任者 和歌山県立医科大学保健看護学部 教授 宮井信行

分担研究者 和歌山県立医科大学 名誉教授 有田幹雄

〃 和歌山県立医科大学保健看護学部 教授 服部園美

〃 和歌山県立医科大学大学院保健看護学研究科 大学院生 辻久美子

8. 問い合わせ先

和歌山市和歌山市三葛 580 番地

和歌山県立医科大学保健看護学部 宮井信行

TEL : 073-446-6700 FAX : 073-446-6720

E-mail : miyain@wakayama-med.ac.jp